

ネイチャーセンターだより

今月の一枚

チュウシャクシギ

英名：Whimbrel 学名：Numenius phaeopus



8~9月ころ、干潟や砂浜に、長いくちばしと長い足をしたシギの仲間がやって来ます。その中に、くちばしが下に曲がったシギがいます。干潟を歩きまわりながら、干潟にいた穴に長いくちばしをさし込みます。

チュウシャクシギのくちばしは、穴の中からうまくカニやゴカイを引っ張り出して食べるのに、都合がよいように、曲がっているのです。

ネイチャーセンター日記



コチドリ

春国岱・風蓮湖ではこれまでに310種類以上の野鳥が観察されています。その多くが渡りをする鳥です。渡り鳥は、夏鳥（日本で夏を過ごす鳥。ふつう日本で子育てをする）、冬鳥（日本で冬を過ごす鳥）、旅鳥（シベリアなどで子育てをして東南アジアなどで冬を過ごすため、日本を通過する時に立ちよる鳥）の3つに分かれます。上で紹介したチュウシャクシギなどのシギやチドリの仲間の多くが旅鳥です。春国岱では、これまでに50種類くらいシギ・チドリの仲間が観察されています。8月になると越冬地へ向かう途中に、栄養補給と休憩のために、たくさんのシギ・チドリの仲間が風蓮湖・春国岱にやってきます。ここで、たくさんのエサを食べ、安全な場所で休みながら、次の旅の準備をします。東南アジアやオーストラリアへの何千キロもある長い旅を無事に終わるためには、風蓮湖・春国岱のような中継地がとても大切な役割をしています。



ネイチャーセンターからのお知らせ

海の生きものを見つけにいこう を開催

7月26日(日)ネイチャーセンターの観察会「海の生きものを見つけにいこう」を開催しました。この日の干潮時間は13:03、干潮時間に合わせて13:00からはじめました。

ネイチャーセンター前の干潟に行き、浅瀬を見ると思いのほか風が強く、波立っていました。「今日はどんな生きものが見つかるかなあ」ドキドキしながらみんなで水辺に網をいれると・・・直径1cmくらいの真ん丸い透明のものが網に入ってきました。「卵かな？」とりあえずバケツにいれ、また他の生きものをさがしにいきました。はじめのうちは、なかなか生きものが捕まりませんでした、「なるべく水の底のほうをすくってみよう」「水草の中や石のかけにかくれているよ」とだんだんと工夫しながら探していくと、カレイやギンポ、カジカの稚魚やスジエビ、ヘラムシなど、いろいろな生きものが見つかるようになりました。

捕まえた生きものをネイチャーセンターに持ち帰り、白いトレイに移して、観察とスケッチを始めたところ、卵だと思っていたものに細い足がはえていることに気がつきました。なんと卵だと思っていたものは、小さなクラゲだったのです。

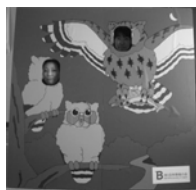
最後にネイチャーセンターの水槽に生きものをいれて、みんなのスケッチを貼って活動を終わりました。また来月、8月16日に2回目の観察会を行う予定です。今度は何がつかまるでしょうか??



ネイチャーセンターの展示がリニューアル!

～シマフクロウになって写真を撮ろう!～

ネイチャーセンターの展示に新しく「顔出しシマフクロウ」増えます! シマフクロウに変身だあ!



～さえずり屋 近日開店～
春国岱や根室の鳥の声を調べよう! その場で鳥の声が聞けるコーナーがオープンします。

ボランティアの活動と募集

フィールドボランティア募集中

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。

春国岱午後のなかよしコンサート

6月22日(日)ネイチャーセンターで亀工房さんを招いてコンサートを開催しました。春国岱の風景をバックにハンマードルシアとギターによる懐かしくやさしい音楽を聴き、春国岱の自然を満喫しました。コンサートは、ボランティアグループ「 sunk 」が主催で行いました。

自然情報 * 8・9月 *

8月に入ると、秋のけはいが感じられるようになります。
風蓮湖には、シギやチドリの仲間があつまようになります。



展望台は、老朽化のため現在利用できません。ご了承ください。
センターでは、双眼鏡、野鳥図鑑の無料貸出を行っています。ご利用ください。

キタキツネ コース

アリスイ

春国岱では、これまでに7種類のキツツキが確認されています。中でもアリスイは独特な模様で爬虫類のような姿をしています。枯れた木が多いところに、大好物のアリを食べにきます。



ハマナス・小鳥の小道 コース

お花畑

休憩舎からその先の砂丘で、秋の初めの花、エゾリンドウやエゾカワラナデシコなどが満開になります。

小鳥の小道でも、キツリフネやエゾノシモツケソウ、エゾフクロなどが咲き、森をにぎやかに彩ってくれます。



キツリフネ

8・9月のいきもの

~野鳥~	アオサキ'	オオハクチョウ	マガモ	コガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	トビ	オジロワシ	ノスリ
	チュウビ	タンチョウ	メダイチドリ	ムナグロ	ダイゼン	キョウジョシギ'	トウネン	ハマシギ'	ウスラシギ'
	オハシギ'	タカブシギ'	キアシシギ'	イソシギ'	チュウシャクシギ'	オオジシギ'	ユリカモメ	セグロカモメ	
	オオセグロカモメ	ワシカモメ	シロカモメ	ウミネコ	キシハト	アマツハメ	アリスイ	クマケラ	
	アカケラ	オオアカケラ	コケラ	ヒバリ	ショウドウツハメ	ハクセキレイ	ピンズイ	タヒバリ	ミソサザイ
	ルビタキ	ノゴマ	ルビタキ	ウグイス	エゾセンニュウ	シマセンニュウ	マキノセンニュウ	コヨシキリ	
	センダイムシクイ	キビタキ	エナガ'	ハシブトガラ	ヒガラ	シジュウカラ	ゴジュウカラ	アオシ'	
	オオジュリン	カワラヒワ	ヘニマシコ	スズメ	コムクドリ	ハシボソガラス	ハシブトガラス		
~花~	エゾオグルマ	ハチジョウナ	シカキク	ノキリソウ	シロヨモギ'	シオガマキク	ハマシオン	ウンラン	
	ハンゴンソウ	アキノキリンソウ	ナキナタクウシュ	エゾミソハキ'	ハマエンドウ	クサフジ'	エゾツルキンハイ		
	ハマナス	エゾノシモツケソウ	ホサキシモツケ	ナガホノシロワレモコウ	マルハトウキ	エゾカワラナデシコ			
	アカネムケラ	エゾフクロ	エゾカワラマツハ'	キツリフネ	川ウツキ'	ツルケマン	サワキキョウ	ミゾソハ'	
	エゾオヤマリンドウ	エゾトリカブト	サラシナショウマ	ハナショウブ'	クルマユリ	オオハユリ			

8・9月のイベント



【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 (春国岱ネイチャーセンター)

行事名	【観察会】海の生きものを見つけにいこう 2
開催日時	8月16日(土) 9:00~12:00 (集合場所:春国岱ネイチャーセンター)
内容	春国岱・風蓮湖周辺の海は生き物の宝箱。潮のひいた海岸で、そとかくれているサカナの赤ちゃんやカニなどを探してつかまえます。海辺の生き物をじっくり観察!
持ち物	長靴、着替え(汚れてもよい服装)、帽子、軍手、タオル、あればバケツ、タモ網、参加費100円
対象	小学生以上(小学生は保護者同伴といたします) 定員20名
申込方法	1週間前までに電話か直接春国岱ネイチャーセンターへ
行事名	【講座】風蓮湖・春国岱フィールド講座 ~ラムサル条約湿地ウトナイ湖を知る、学ぶ~
開催日時	2008年8月23日(土)13:00~16:00 *雨天決行
内容	風蓮湖・春国岱よりも14年早く、全国で4番目にラムサル条約湿地となったウトナイ湖。ここはガン類やハクチョウ類など、渡り鳥たちの重要な中継地としても知られたところです。今回はこのウトナイ湖の自然やそこでの活動を写真やお話で紹介します。できれば春国岱を歩きながら2つのサイトを比べ、共通点や相違点を明らかにしたいと思います。ウトナイ湖野生鳥獣保護センターの中村聡氏をまねいて、お話をさせていただきます。
持ち物	筆記用具、参加費100円
対象	一般(高校生以上) 定員30名
申込方法	1週間前までに電話か直接春国岱ネイチャーセンターへ

【工作】クラフトコーナー : 7月26日から8月31日まで

自然のものを使って自分で好きな生き物などの作品を作るクラフトコーナーができます。開館中はいつでも作れます。いろいろな作品を作ってみてください。

【展示】第7回コニカ ミノルタ・タンチョウ チャリティ フォトコンテスト入賞作品展

開催期間: 8月1日から8月31日 開館時間中 (観覧: 無料)

一般の方からご応募いただいたタンチョウの写真の中から選ばれた15点の入賞作品を展示します。

団体の方へ~ 解説のご案内 ~

事前にお申し込みが必要です。

野外での解説は、学校など自然学習を目的とした団体などに限らせていただきます。詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



野外解説・自然学習	(~2時間 / ~20名)
春国岱の自然(映像)	(15分~25分 / ~45名)
自然クイズラリー	(約1時間 / ~50名)
タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム	(0.5~2時間 / ~20名)
施設概要説明	(30分~2時間 / ~45名)

~メール配信のお願い~

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。
連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp
ネイチャーセンターだよりは、ホームページでもご覧いただけます。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570
HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp
8・9月の開館時間 9:00~17:00
8・9月の休館日 8月6・13・20・27日、9月3・10・16・17・24・25日